

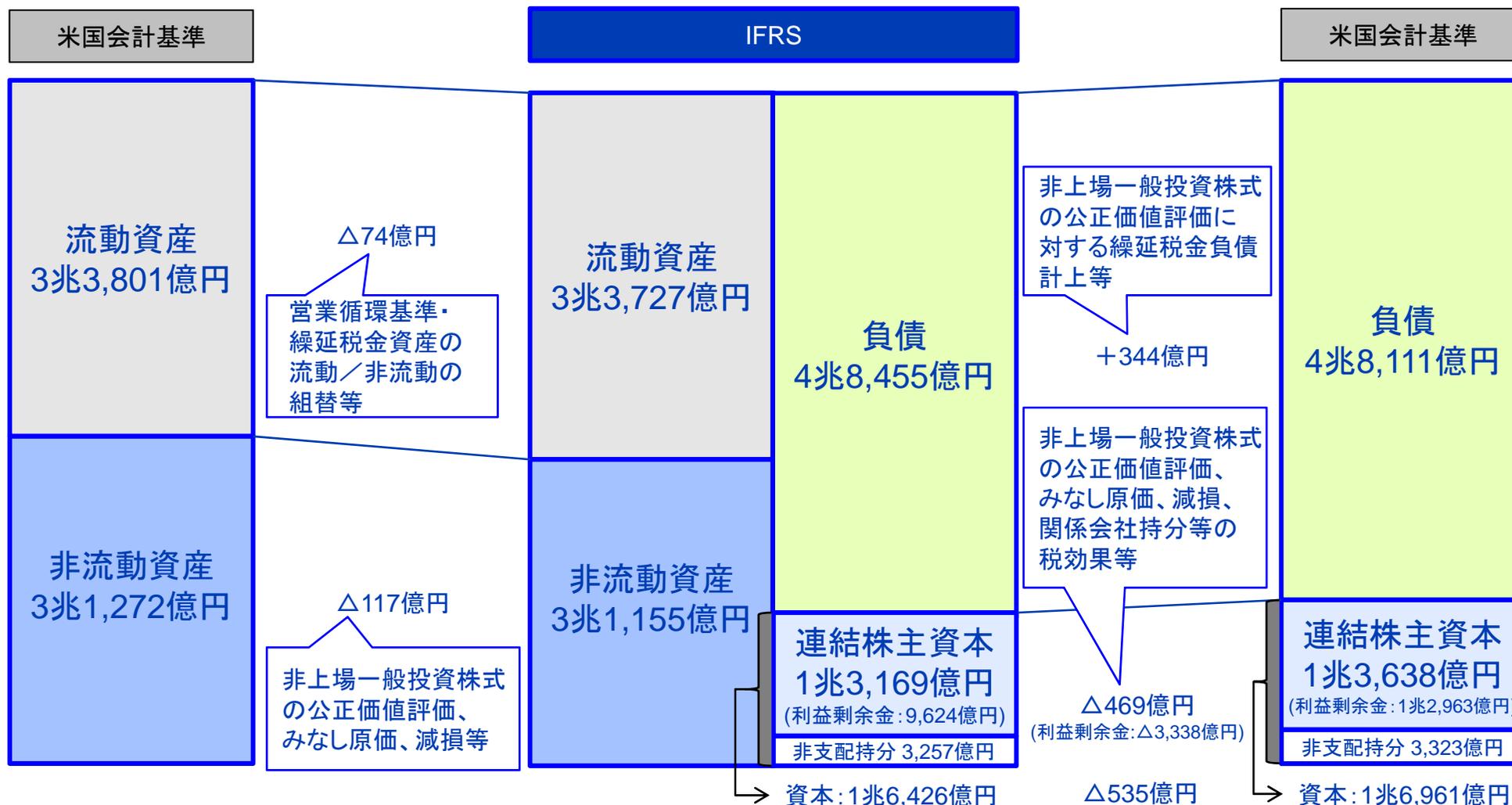


国際会計基準(IFRS)への移行について

2014年6月30日
伊藤忠商事株式会社

> 開始財政状態計算書への影響（2012年4月1日時点）

- 連結総資産 : 191億円減少 / 米国会計基準 6兆5,073億円 ⇒ IFRS 6兆4,882億円
- 連結株主資本 : 469億円減少 / 米国会計基準 1兆3,638億円 ⇒ IFRS 1兆3,169億円



> 開始財政状態計算書への影響

■ 米国会計基準とIFRSとの主要な差異による連結株主資本への影響

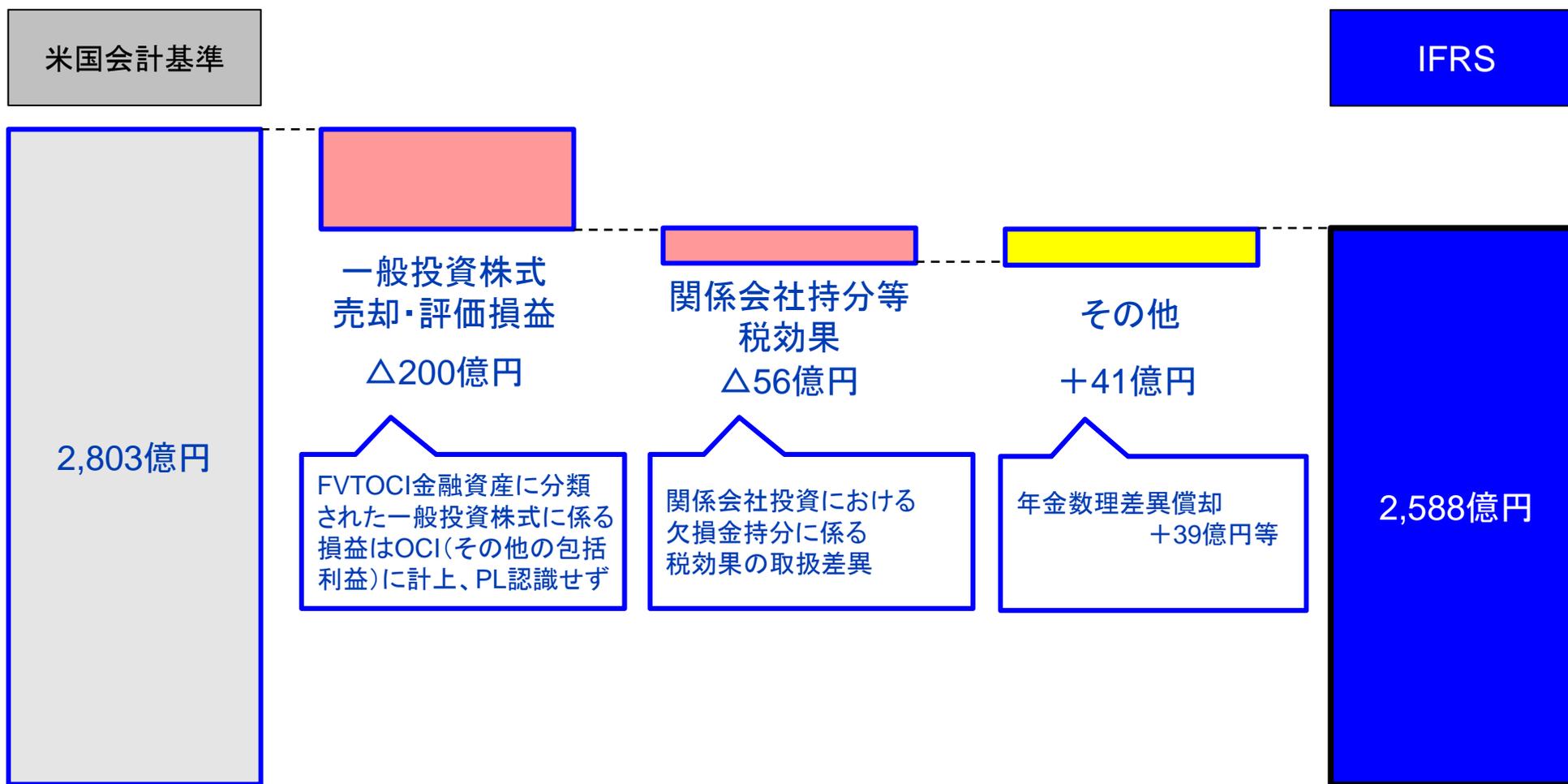
項目	内容	影響額(単位:億円)	
		連結株主資本	
		利益剰余金	その他の資本の構成要素
非上場一般投資株式の公正価値評価	非上場一般投資株式をIFRSのみ公正価値評価	—	+629
関係会社持分等の税効果	関係会社持分等に係る税効果差異	△393	—
減損	減損判定単位の基準差異によりIFRSのみのれんの減損を認識	△67	—
みなし原価	初度適用での特例処理:固定資産について移行日での公正価値評価	△533	—
為替換算調整額ゼロリセット	初度適用での特例処理:従前の為替換算調整額残高を利益剰余金に振替	△2,088	+2,088
年金債務調整額ゼロリセット	従前の年金債務調整額を利益剰余金に振替	△979	+979
持分証券分類	FVTOCI金融資産に分類された一般投資株式に係る過去からの減損損失累計額を利益剰余金から振替	+826	△826



2012年度連結包括利益計算書への影響

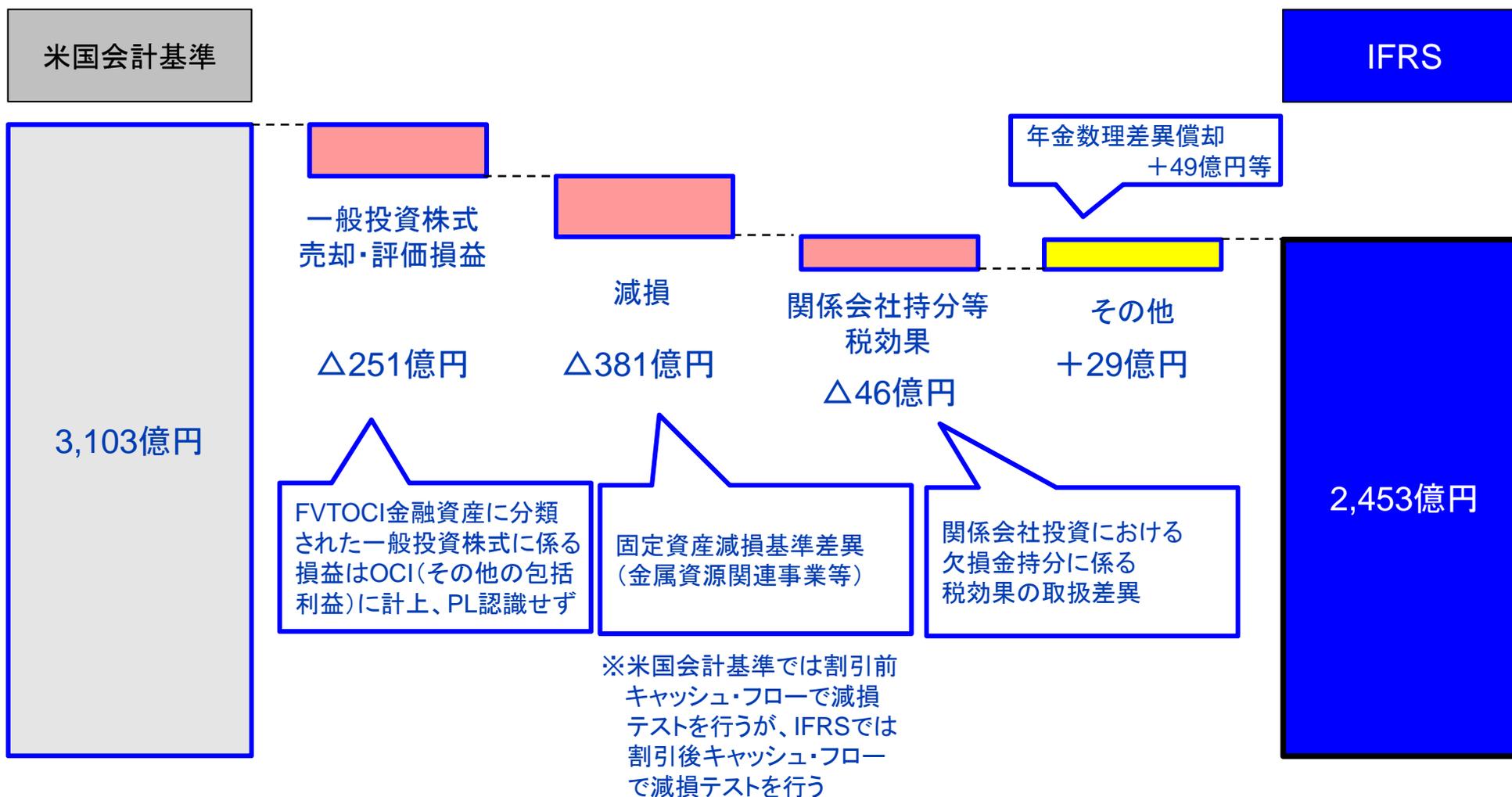


- 当社株主帰属当期純利益への影響: 215億円減少 /
米国会計基準 2,803億円 ⇒ IFRS 2,588億円



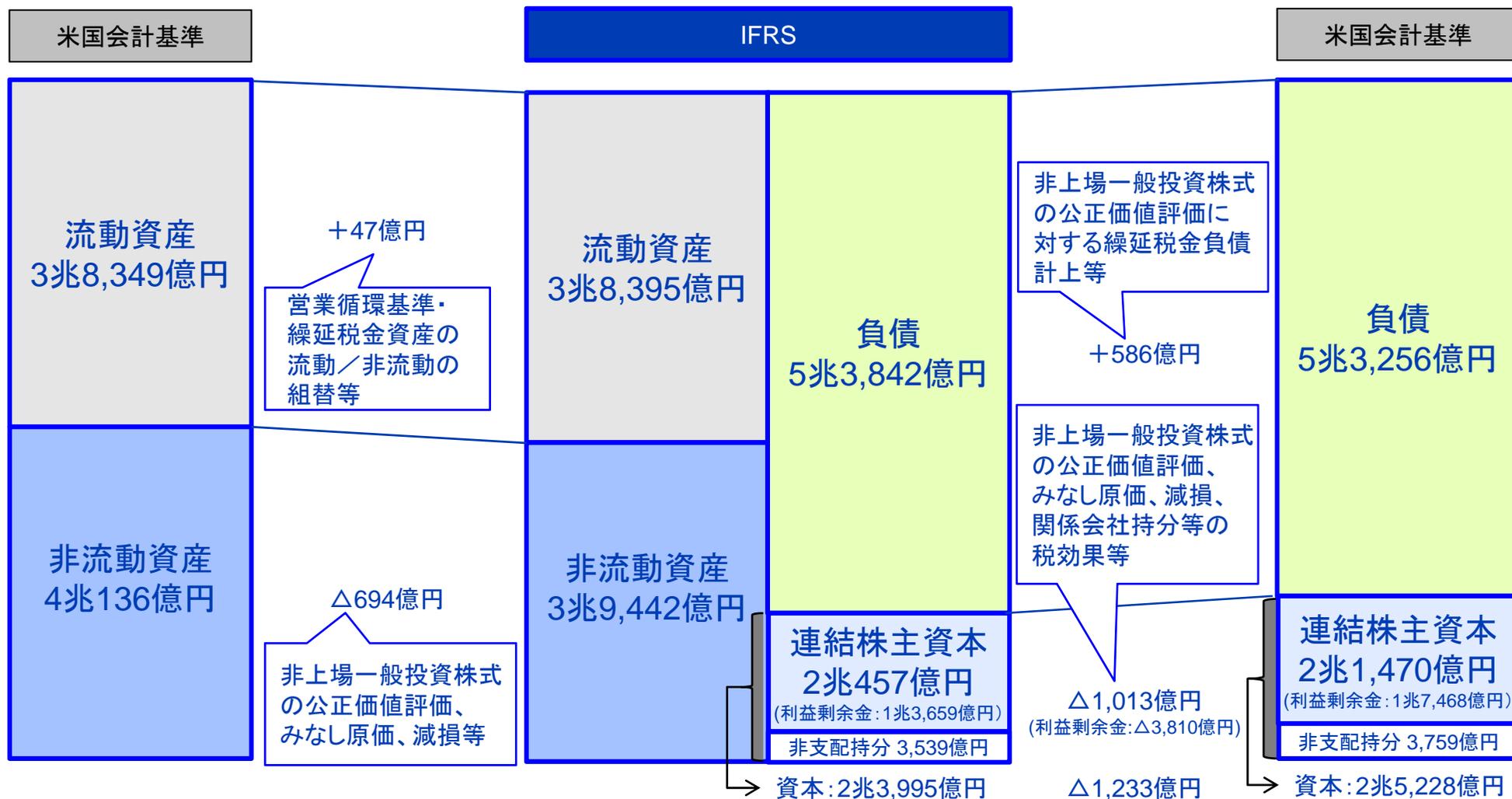
> 2013年度連結包括利益計算書への影響

- 当社株主帰属当期純利益への影響: 650億円減少 / 米国会計基準 3,103億円 ⇒ IFRS 2,453億円



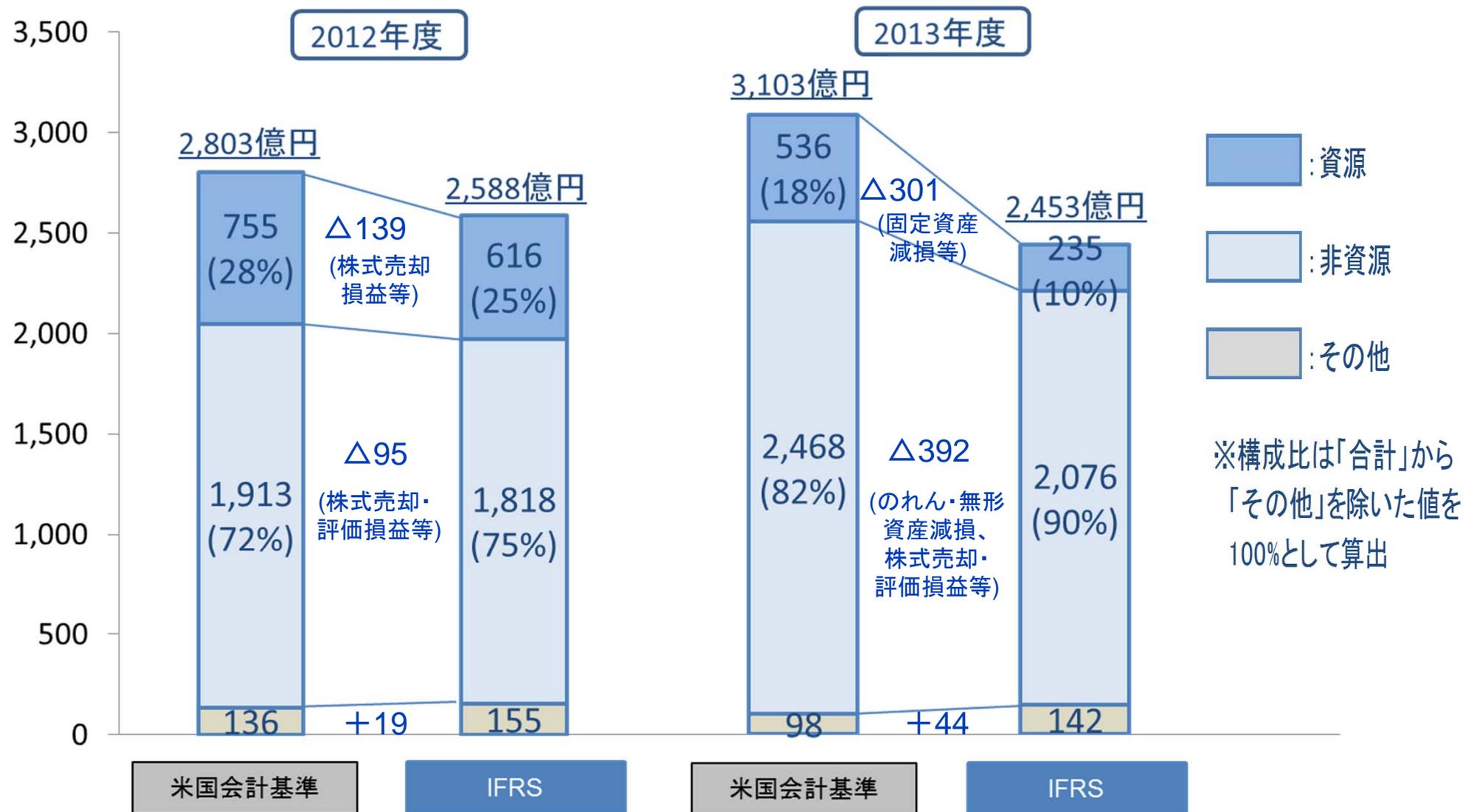
> 2013年度連結財政状態計算書への影響

- 連結総資産 : 647億円減少 / 米国会計基準 7兆8,484億円 ⇒ IFRS 7兆7,838億円
- 連結株主資本 : 1,013億円減少 / 米国会計基準 2兆1,470億円 ⇒ IFRS 2兆 457億円



> 資源／非資源利益の内訳

- 2012年度 米国会計基準：資源 28% vs. 非資源 72%、IFRS：資源 25% vs. 非資源 75%
- 2013年度 米国会計基準：資源 18% vs. 非資源 82%、IFRS：資源 10% vs. 非資源 90%





キャッシュ・フローの状況

- 2012年度、2013年度ともにキャッシュ・フローの状況については、米国会計基準とIFRSにおいて大きな差異はなし。

(単位:億円)	2012年度		
	米国会計基準	IFRS	増減
営業キャッシュ・フロー	2,457	2,365	△ 91
投資キャッシュ・フロー	△ 2,000	△ 2,038	△ 38
財務キャッシュ・フロー	△ 113	30	+ 143

(単位:億円)	2013年度		
	米国会計基準	IFRS	増減
営業キャッシュ・フロー	4,184	4,281	+ 97
投資キャッシュ・フロー	△ 2,667	△ 2,704	△ 37
財務キャッシュ・フロー	△ 717	△ 779	△ 61